

・青森県教育委員会教育長賞

お米のパワー

南小学校（十和田市）

六年 畑^{はた}山^{やま}慶^{けい}治^じ

ぼくは、六年生になってからの朝食をパンからご飯に変えました。なぜなら、お米を食べるとパワーがでるからです。

ぼくは小学校に入る前から、じいちゃんとはあちゃんの田んぼと畑のお手伝いをしてきました。それは、ぼくにとってはすごく楽しいです。今年、六年生になって体も大きくなり力も強くなったので、小さい頃よりも出来る仕事が多くなったように感じました。

初めてやってみて大変だと感じたのは、田植え機を運転しているじいちゃんが田んぼのはじっこに来る前に苗を取りやすいように苗箱を地面にトントンとすることです。苗箱は少し重し、トントンにはコツがいります。

ぼくが、一番がんばった仕事は苗箱を洗う仕事です。じいちゃんが苗を田植え機に入れたあとに、空になった苗箱を重ねながら集めて洗いました。水は思っていたよりも冷たくはなくぬるかったので、仕事がかどりました。

まず、箱を水につけてこびり付いている土を取りやすくします。次に、ブラシで付いている土や草などをゴシゴシこすって落とします。そして、きれいになったかを確認して、十枚ずつ重ね

ます。そのあとは、ばあちゃんがそれをひもで結んで、小屋に運びます。

いっしょうけんめい仕事をしていたので、みんな暑くなり休けいをとりました。ぼくはこの時間が気に入っています。

田植えが順調に進んだので、早目に終わることが出来ました。このあと、じいちゃんと田植え機を洗いました。ジェット洗淨機で洗ったので、一気に汚れが落ちて楽しいし気持ち良かったです。

ぼくは、手伝いをがんばったので、その日の夜ご飯はいつもの何倍も美味しく感じました。

ぼくは、ご飯のたけた時の匂いがとても好きです。すい飯器を開けた時のあのあたたかいほわっとした良い匂いです。朝、ご飯をよそった時、食よくがわくし、パワーもみなぎります。ぼくは、真白なご飯にすじ子をこまかくご飯全体にいていに散らして食べるのが大好きです。

お米作りは、とても大変です。天気によっては実が入らなかったりすることもあるので心配な時もあります。新米がとれた時、うれしいし、米作りに加わることが出来て良い経験をしてきたなと思いました。

来年も米作りをがんばるぞ。

